

# 美しき庭園画の世界

## —江戸絵画にみる現実の理想郷

2017年10月21日(土)－12月10日(日)

将軍、大名、文人、富豪、そして画家…江戸時代の人々を熱狂させた  
「庭園画」の全貌を明らかにする初めての展覧会です

江戸時代、現代の東京では想像もつかないほど、江戸は緑にあふれた都市でした。全国の大名がこぞって大邸宅を構え、千を超える大名庭園がひしめく、世界でも類稀なる”庭園都市”となりました。

江戸はなぜ、庭園都市に変貌を遂げたのでしょうか。

それは、庭園は社交や儀礼の場、そして日常のなかで名所や憧れの地へと想いを馳せることのできる、現実の理想郷ともいうべき場所だったからです。

江戸で大名庭園が<sup>けん</sup>妍を競うように造られていた頃、古来数々の名園が造られてきた関西でも、社寺や文人の居宅の庭園、そして中国の憧れの庭園を描く作品が制作されました。

庭園の美しさを絵にとどめたい、あるいは普段眼にすることができない名園を絵で見たい、という人々のもとめによって、数多くの〈庭園画〉が描かれました。

人々を熱狂させた庭園ブームは、江戸絵画史上、傑作と称すべき庭園画をも生み出しました。

本展は、江戸絵画において重要なジャンルを形成した〈庭園画〉について、江戸時代初期から幕末に至る作品を通覧することで明らかにする初めての展覧会です。

知られざる江戸絵画のジャンル・〈庭園画〉の歴史をひもとき、その素晴らしさをご紹介します。

それとともに、失われた美しい庭園のすがた、今も続く名園の往時のすがたを、お楽しみいただきます。

江戸絵画ファン、庭園ファン必見の展覧会です。

## 見どころⅠ 六義園・金閣寺… 今に続く東西の名園を描いた江戸時代の庭園画が一堂に会します

現在もなお人々を魅了する国指定特別名勝の庭園・六義園<sup>りくぎえん</sup>。年間70万人を超える人が訪れる、東京都内の人気観光スポットです。大名庭園の魅力が凝縮された周遊コースをたどる楽しみは、現代の私たちの心も捉えます。本展では、六義園に代表される、現在も人々に知られる名園の往時のすがたに迫ることで、江戸時代の庭園の美しさをご堪能いただくとともに、庭園画の魅力をご紹介します。



狩野常信・周信・峯信「六義園図」(部分) (郡山城史跡・柳沢文庫保存会)

## みどころⅡ 江戸時代非公開の「秘園」を描いた庭園画、 江戸絵画史上最大級の庭園画が実際にみられます

「天下一の名園」と謳われた尾張徳川家の下屋敷の庭園・戸山荘<sup>とやまそう</sup>。「園癖將軍<sup>えんべき</sup>」と呼ばれ、庭園マニアだった第11代將軍・徳川家斉など、戸山荘にはごく限られた人しか入れませんでした。名園にして「秘園」だった戸山荘を描いた絵は、江戸時代の人々の心をとらえました。

本展では、戸山荘に代表される、今はなき数々の名園を、庭園画でご覧いただくことで、將軍や大名を魅了した江戸時代の庭園の魅力をご紹介します。

また、江戸絵画史上最大級の絵巻である「水前寺庭中之図」(永青文庫)は、約1m×6mの大画面に、現在も熊本で観光の人気スポットである水前寺成趣園<sup>じょうじゆえん</sup>を描いた作品です。熊本藩主・細川家の当主が愛した水前寺成趣園の壮麗な様子を、大名が楽しんだ超弩級<sup>とっきゅう</sup>の迫力ある大画面でお楽しみいただきます。



狩野惟信「戸山荘八景図巻」(部分) (徳川美術館)



杉谷行直・内尾栄一「水前寺庭中之図」(部分) (永青文庫)

### みどころⅢ 池大雅・谷文晁…

## 江戸時代の巨匠が描いた庭園画と、庭園画に関連する傑作の数々が集結します

庭園画を描いた画家のなかには、江戸時代を代表する巨匠も数多くいます。とりわけ、江戸中期から後期、池大雅や谷文晁が描いた庭園画とその関連作品には、江戸絵画史に大きな影響を与えた名品があります。

池大雅が描いた庭園画には、日本にある現実の庭園だけでなく、中国の憧れの庭園を描いた作品があります。これらの作品は日本絵画史を揺るがした名品ぞろいですが、これまで庭園画として認識されてこなかったため、大雅の庭園画の魅力はどこにあるのか、十分に検討されていません。

本展では、大雅の庭園画がどのようにして生み出されたのか、そのスタイルの確立する過程を明らかにすることで、その魅力に迫ります。

谷文晁は、研究者の間では、「庭園の画家」とも称されるほど、大名庭園を描くことを得意とした画家として知られています。ただし、文晁の庭園画を集めて展示し、そのスタイルがどのような展開を遂げたか、具体的に検討されたことはありません。

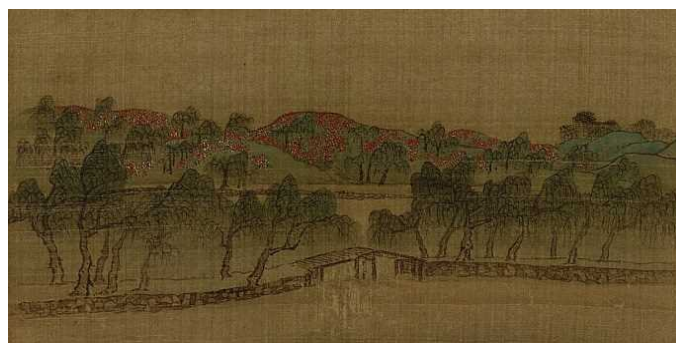
本展では、文晁の庭園画を一堂に集めることで、その特徴を明らかにします。また、文晁の庭園画は、その代表作である「公余探勝図巻」（東京国立博物館）とも密接な関係にあります。「公余探勝図巻」とともに展示することで、江戸絵画史に大きな衝撃を与えた文晁の庭園画のスタイルがどのように確立されたか、実際にご覧いただきます。



池大雅「高士訪隠図屏風」（京都府）



池大雅「蘭亭曲水図屏風」（静岡県立美術館）重要文化財



谷文晁「浴園園図記」（部分）（天理図書館）

秘蔵の名品、大注目の初公開！



谷文晁「青山園荘図稿」(部分) (出光美術館)重要文化財



谷文晁「公余探勝関巻」(部分) (東京国立博物館)重要文化財

## ■ 展覧会概要 ■

展覧会名 美しき庭園画の世界－江戸絵画にみる現実の理想郷  
会 期 2017年10月21日(土)－12月10日(日)  
前期：10月21日(土)－11月12日(日) 後期：11月14日(火)－12月10日(日)  
※巡回先なし  
開館時間 10：00－17：30 (入館は17：00まで)  
休 館 日 毎週月曜日  
主 催 静岡県立美術館  
観 覧 料 一般800円(600円) 70歳以上400円(300円) 大学生以下無料  
※( )内は前売り・団体料金  
※身体障害者手帳等をお持ちの方とその介護者1名は無料

関連事業 ◆美術講座◆ ※当館講座室、申込不要、無料  
講師：野田麻美(当館学芸員)「美しき庭園画の世界へのいざない」  
11月23日(木・祝)14：00～15：30  
◆フロアレクチャー◆ ※集合場所：企画展第1展示室 申込不要、要観覧料  
当館学芸員が展示室にて解説を行います。  
11月3日(金・祝)・12月3日(日)いずれも14：00～

担当者／連絡先 静岡県立美術館 〒422-8002 静岡県静岡市駿河区谷田53-2  
学芸課担当 野田麻美  
TEL：054-263-5857 FAX：054-263-5742  
総務課担当 金原功  
TEL：054-263-5755 FAX：054-263-5767

## 広報用画像利用申込書

画像ご申請に際しては、お手数ですが、下記情報をご記入の上、

**Fax : 054-263-5767** まで申込をお願いいたします。

### 掲載／ご申請者様情報

掲載誌・番組名

---

発行／放映日

---

ご申請者名（会社・代表者様氏名）

---

ご担当者部署・氏名

---

ご住所 〒

---

お電話番号：

---

**Fax :**

---

**E-mail :**

---

### 画像利用希望作品名

※チラシ、プレスリリースの画像をお申込いただけます。

1

---

2

---

3

---

### 注意事項

- ・本申込でご提供する画像は、本展の広報に関する場合に限ってご利用ください。
- ・ご利用後は、画像データの破棄をお願いいたします。
- ・画像、作品名等の情報確認のため、原稿は上記 **Fax** 番号（054-263-5767）にお送りください。確認に数日お時間を頂戴する場合がございますが、ご了承ください。
- ・ご掲載後は、掲載誌を1部、下記までお送りください。

〒422-8002 静岡県静岡市駿河区谷田 53-2 静岡県立美術館 学芸課 野田麻美